

実行

謙遜

教会の歴史の中で、「謙遜」という言葉が大切にさ

れ、キリスト信者が常に心がけるべきこととされてきました。しかし、その結果、何事に対しても積極的になれず、常に受け身になってしまいうキリスト信者を作ってしまった。

どうしてこのようなことになったのでしょうか。イエスの時代の律法学者たちやファリサイ派の人々は、自分たちは常に正しいことを行ない、律法をきちんと

守っているという誇りを持っていました。それだけならまだよかったです。貧しいために律法を守れない人々や、病氣の人を軽蔑してました。

確かに、自分の行動に誇りを持つことは大切です。しかし、だからといって、人を軽蔑することは違います。イエスが言いたかったのは、このようなごまんな考えを捨てるようにということなのです。

実行

昔から、不言実行と言われています。言うことは簡単ですが、実行することはむずかしいのです。その

ために、自分じぶんはこれこれのことを実行じっこうしますと言いわな
いで、黙だまって実行じっこうしなさいと言いわれてきたのです。

わたし
私たちはどうすればいいのでしょうか。いつも

謙遜けんそんにして、じっとしていればいいのでしょうか。イ

エスは決けつしてそのような態度たいどを望のぞんでいたわけでは

ありません。できそうもないことを、やりますと言いう

のではなく、たとえ小ちいさなことも、自分じぶんにできそう

なことを探さがして実行じっこうすることが必要ひつようなのです。

自分じぶんではとてもできないとあきらめていることで

も、人ひとの意見いけんを聞きくことで、自分じぶんにも何なにかできそうな

ことを見みつけることができるかもしれませぬ。

自分じぶんでできそうと思おもうことを書かいて下ください。

